

お問い合わせ・ご意見

2024年10月発行

世田谷区 環境政策部 環境計画課 気候危機対策行動推進担当

電話：03-6432-7135(直通) FAX：03-6432-7981

電子申請サービス <https://logoform.jp/f/kKzEk>

右のQRコードを読み込んで、スマートフォンからお申し込みいただけます

LoGoフォーム



区ホームページにて「脱炭素地域づくり」についての概要を掲載しています

区ホームページのトップページから「4751」で検索



SEIJO GREEN CITY

100周年の今、グリーンな成城へ



世田谷区は、成城のまちを舞台に
新しい持続可能な地域づくりをはじめます

みどりとゆとりに満ちた、洗練された学園都市の未来を見据え、

地域社会と住民の“Well-Being”※1 を高め、持続可能で豊かな暮らしを実現するために

みどりと親しみながら暮らす家々が美しい景観を形成する、洗練された学園都市・成城。これまでの歩みを振り返ると、成城のまちは常に「みどりとゆとりに包まれた公園のような環境」を目指してきました。並木道や庭園、生垣越しに広がる緑の風景は、住民一人ひとりの努力と自治精神によって築かれたものです。この豊かな住環境や景観は成城の誇りであり、住民の生活に潤いと安らぎをもたらしています。また、長い年月を通じて、良質で心豊かな生活の模範として多くの人々に影響を与えてきました。

この長い歴史に対する誇りを持ちながらも、現代の課題にも目を向ける必要があります。地球温暖化の進行は、世界中の生活環境に影響を及ぼしており、日本国内でも豪雨被害や厳しい暑さが増加しています。未来にわたり安全で快適な暮らしを続けていくためには、地域住民一人ひとりが環境負担を抑える新しいライフスタイルを取り入れる必要があります。

さらに、居住者の高齢化や生活環境の変化に伴い、成城のまちも変容しつつあります。樹木や生け垣の減少、街並み・景観、交通量の増加による環境の変化、国分寺崖線などでの開発の進行と自然環境の喪失、地域コミュニティの希薄化など、伝統あるまちの良さが失われつつあります。

区は、成城地区の豊かな歴史と自然を守りながら、現代の環境問題や地域課題に積極的に取り組むため、地域住民の参加と協力を一層強化していきます。新しい時代にふさわしい「SEIJO GREEN CITY VISION」を提案し、生活の利便性や豊かさを保ちつつ、住民自らが主体となって環境の持続可能性を確保し、地域社会全体の健全性を向上させる取り組みを進めます。地域住民一人ひとりの「暮らしやすさ」と「幸福感 (Well-Being)」を高め、持続可能で新たな可能性に満ちた成城を共に創り上げていくことを目指します。皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

※1「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます。(日本WHO協会仮訳)」世界保健機関憲章(1946年採択、1948年発行)の前文で定義されている、「健康」と同様の概念として使われる言葉。

“SEIJO GREEN CITY VISION”が目指すこと

未来のために
地域を守り、活かす



サステナブル
(持続可能)な
暮らし、まちづくり



住民の
Well-Beingの向上



世田谷区は、100年後もみどり豊かでゆとりある成城のまちを

住民の皆さまとともに目指します

経済循環・地域活動

地域の経済循環や地域活動が活発に行われる

エネルギーの効率化によって節約された資金等が地域活動に還元されたり、せたがやPay(デジタル地域通貨)の活用など、地域内で資金が効率的に循環する仕組みにより、持続可能で活力ある地域づくりを目指します。

暮らし

エネルギーを賢く使い、豊かで快適な暮らし

家庭で無理なく、環境負荷が少ないエネルギーを使う未来を目指し、家計にも環境にも優しく、負担や不安の少ないエネルギー利用を実現しながら、豊かで快適な暮らしを目指します。

グリーンインフラ

住宅や国分寺崖線にみどりがあふれ、自然環境の多様な機能を活かしたまち

みどり豊かな環境を保全・創出し、自然災害や気温上昇の抑制、雨水の循環、生物多様性の保全など、自然環境の機能を活かし、自然と共に暮らすまちづくりを目指します。

防災レジリエンス

住宅や街なかに電源が確保されるなど、災害に強い地域づくり

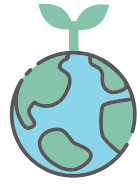
自然災害に強い地域づくりのため、住宅や公共施設などに自立・分散型の電源(蓄電池など)の導入を促進するなど、地域の防災力強化を目指します。

地域コミュニティ

地域でエネルギーを分かち合い、住民がつながり合う

地域内の太陽光発電などで生まれたエネルギーは、地域内で効率的に利用し、地域全体で環境負荷の抑制と経済性の実現、また、エネルギーのつながりをきっかけとしたコミュニティづくりを目指します。

なぜ持続可能性を意識する生活が大切なのか？



未来のために地域を守り、活かす

今だけでなく、次世代にも豊かな暮らしを引き継いでいくためには、地域の環境を活かしながら、持続可能な地域づくりに取り組むことが不可欠です。成城地区の豊かな住環境を守りながら、できることから始めることが、重要な一歩です。



サステナブル(持続可能)な暮らし、まちづくり

一人ひとりが環境負担を抑える新しいライフスタイルを取り入れることは、住民が共有する豊かな自然環境の維持と再生に役立ちます。それぞれの住宅でみどりを意識したり、エネルギーを効率的に利用することで、地域のCO2排出量を大幅に削減することができます。



住民のWell-Beingの向上

みどり豊かでゆとりのある生活環境は、心と体の健康を守り、住民の生活の質を向上させ、豊かにします。地域全体でサステナビリティの取り組みに協力し合うことにより、地域の新たな魅力の発見や地域との絆が深まり、より住み心地のよいまちの実現につながります。

家庭でできるサステナブルな暮らしって？



省エネをこころがける

まずは、日常生活においてエネルギーを大切に使用することを意識していただくことが重要です。使わない照明、家電はこまめに電源を切り、エアコンを無理の無い範囲で適切な温度に設定していただくなど、小さな行動の積み重ねがサステナブルな暮らしの第一歩となります。



CO2が少ない製品やサービスを選ぶ

蛍光灯をLED照明に交換したり、エアコン、冷蔵庫などの家電を省エネ家電に買い換えることで、CO2排出の削減につながります。また、利用する電気は、CO2を排出しない再エネ由来の電力プランを選択することで、家庭の電力利用によるCO2排出量を実質ゼロにすることもできます。



エネルギーをへらす、つくる、ためる

住宅の状況に合わせて、太陽光発電や蓄電池などを導入し、自宅で使用する電力をつくり、ためて、利用することで、家庭から排出されるCO2の排出量を削減することができます。光熱費の抑制や停電時の非常電源としても活用が期待できます。



地域で繋がる再エネを「お裾分け」

余った太陽光発電の電力を、地域で必要としている人たちに直接売ることができる、再生可能エネルギーの地産地消の取り組み(※2)にご参加いただくことで、地域で協力しながら、エネルギー自給率を高め、脱炭素化を進めます。

(※2) 詳しくは区HPをご覧ください(トップページから「4751」で検索)

官民一体となって目指す、

これからの“SEIJO GREEN CITY”

世田谷区は、エネルギー分野や地域づくりで専門性をもつ協力企業や、地域のステークホルダーと協力・連携し、持続可能な地域づくりを加速していきます。

協力事業者

Jera



東京電力パワーグリッド

成城地域



成城大学
SEIJO UNIVERSITY

TOHO STUDIOS



東京都立
総合工科高等学校

地域住民の皆さまのご意見等を伺いながら事業内容の検討を進め、2030年(令和12年)を見据えた様々な取組みを開始します。

2024年(令和6年)

説明会や意見聴取、普及啓発、
先行事業の実施など

2025年(令和7年)

成城地区部分的先行開始

2030年(令和12年)

世田谷区全体に拡大

